

一般社団法人粉体工学会

2022 年度 春期研究発表会 講演募集

開催 5月17日（火）、18日（水） 講演申込締切 3月4日（金）

BP 賞対象講演，一般講演
シンポジウム：粉体工学とエアロゾル工学との連携

2022 年度春期研究発表会は姫路・西はりま地場産業センター（じばさんびる）を会場に、**ZOOM によるオンライン講演**併用開催とし、以下の要領で講演募集を行います。
BP 賞対象講演および一般講演は未発表の内容に限りますが、シンポジウムは既発表の内容でも結構です。
皆さま多数のお申込みお待ちしております。奮ってご応募下さい。

開催日：2022 年 5 月 17 日（火）、18 日（水）

会場：姫路・西はりま地場産業センター（じばさんびる）

[公益財団法人 姫路・西はりま地場産業センター（じばさんセンター）（jibasan.or.jp）](http://jibasan.or.jp)

〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町 123 番（JR 姫路駅前）

***ZOOM によるオンライン講演も可能です。**

講演種別：研究報告，研究速報，研究中間報告，技術報告，技術資料報告，現場データ報告，その他

講演時間：質疑含めて 15～20 分を予定しています。

申込締切：3 月 4 日（金）

講演要旨集用原稿締切：4 月 8 日（金）（講演要旨集執筆要綱が適用されます。ホームページをご覧ください。
講演要旨原稿は A4 サイズ，2 頁とします。）

参加費（先行申し込み料金）：

会員 8,000 円，学生会員 3,000 円，会員外 11,000 円

先行振込締切（5 月 8 日予定）以降は，参加費は当日扱いとなります。なお，（一社）日本粉体工業技術協会の会員は粉体工学会の会員と同額とします。詳細は参加募集（3 月下旬予定）にてご確認ください。

講演申込方法：以下の Web サイトよりお申込み下さい。

郵送、Fax、E-mail 等での受付は行いませんのでご注意ください。

申込先：<http://www.sptj.jp/event/haru/>

【一般講演】（全て未発表の内容に限ります）

研究報告，研究速報，技術報告，技術資料報告，現場データ報告等の種類で募集いたします。

【BP（ベストプレゼンテーション）賞対象講演】（全て未発表の内容に限ります）

発表者の年齢は 2022 年度末（2023 年 3 月 31 日）当日 36 才未満であり，発表の内容および方法が特に優れていたと認められる個人に授与します。このセッションで発表を希望される方は，Web 上で春期研究発表申し込みフォームの講演種別 1 の”BP 賞”を選択してください。なお本年度の春期研究発表会では「口頭発表」により（秋期研究発表会では「ポスター発表」）BP 賞対象者を審査します。本セッションにおいては質疑応答も重視しますので，口頭発表としてインパクトのあるものを精選してご応募下さい。

【シンポジウム】「粉体工学とエアロゾル工学との連携」

分散、輸送、分級、集塵、粉碎、流動層、噴霧、微粒子合成などの気相系微粒子プロセスは、粉体工学における古くからの重要な操作です。これらは SDGs の達成やカーボンニュートラル社会の実現に不可欠な要素技術でもあり、現在もなお工業的な応用と課題解決へ向けてナノスケールからマクロスケールまでの活発な研究開発が実施されています。一方、メディアで頻繁に取り上げられているウィルス感染対策としての飛沫・エアロゾル捕集や室内環境におけるエアロゾルの可視化、空気清浄、PM1.0, PM2.5 やナノマテリアルの吸入暴露に関する規制、気候変動への影響など、大気中に浮遊する微粒子状物質、すなわちエアロゾルへの関心も高まっています。特に最近の技術革新で確立されたナノ計測技術やエアロゾル計測技術を活用した先駆的な研究開発、大規模なプロジェクト研究が、粉体工学とエアロゾル工学分野で世界的に進行し始めています。

本シンポジウムでは、粉体工学とエアロゾル工学の接点を俯瞰的に認識し、その連携を促進することで新たな研究領域を構築することを目指しています。希薄系から濃厚系までの幅広いスケールの気相分散系粒子に着目し、微粒子の合成、挙動、実験手法、シミュレーション、さらには、実際の微粒子ハンドリングなど、基礎科学から工業的な応用技術の最前線まで、異なる分野を専門とする研究者、技術者が情報の発信と意見交換を行える場を提供します。さまざまな観点からの発表を歓迎します。

オーガナイザー：福井 国博（広島大学），瀬戸 章文（金沢大学），並木 則和（工学院大学），飯村 健次（兵庫県立大学）

問 合 先：一般社団法人粉体工学会（〒600-8176 京都市下京区烏丸六条上北町 181 第5キョートビル7階）
TEL. 075-351-2318, FAX. 075-352-8530 E-mail: office@sptj.jp